

「わたしたちの体育」を利用した学習事例（第3学年）

土庄町立土庄小学校 三宅 智仁

第3学年	単元名	みんなでダンス
指導時間	6時間	児童書掲載ページP54～P57

【単元の目標】

- ・運動の行い方を知り、ロックやサンバのリズムに乗って、全身で踊ることができる。自分の課題を見つけ、踊り方や活動の仕方を工夫し、自分で考えたことを伝えることができる。グループで友だちの動きや考えを認め、進んで運動することができる。

【安全にみんなが運動できるように・・・はじめに約束しよう、確認しよう】

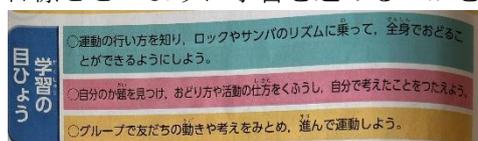
- ・リズムに乗って楽しく踊れるようにする。
- ・音響が正しい音量で流れているか、練習する場所の安全が保たれているか確認する。
- ・体の動きを取り入れた学習であるので、初めに「音楽に合わせて先生のまねをして踊ってみよう。上下左右の動きを取り入れて、友だちと反対の動きをやってみよう。友だちの積極的な動きを認めたり、自分たちの動きにも取り入れたりできるようにしよう。」と指導する。
- ・グループでの練習中には、否定的な言葉が出ないように注意する。そのためにそれぞれのグループで動き方に変化をつけること、学習の終わりにはみんなで振り返る時間を取ることを指導する。
- ・発表会のときには、リズムに合わせて手拍子で応援をすることを指導する。

【学習活動 第1時～第6時】

第1時

①学習の目標と進めを知る。

1. 学習の目標とどのように学習を進めるのかを説明する。



②運動の行い方について知る。

2. ロックやサンバのリズムに合わせて、体を動かしてみる。

踊ることに抵抗がある児童もいるので、最近のヒップホップも選曲できるようにしておく。

自分たちから「踊りたい」「やってみたい」という声が出るようにしたい。

③きまり、学習の場と安全面について知る。

3. 運動する場所に危険がないか確認する。

自分の練習、グループでの練習について確認する。

ぶつからないように広く間隔を空ける。

④「やってみよう」を行う。

1. 【まねっこ遊び】

- ・先生の動きをまねしておどってみる。
- ・友だちの動きもまねする動きを経験することをねらいとする。

※間隔をしっかりと取る。

※まねをしながら踊ることで、リズムダンスに必要な動きを身に付けることができるようにする。



⑤学習のまとめの仕
方を知る。

第2～5時

①準備運動「やって
みよう」を行う。

②めあてを確認す
る。

③活動1を行う。

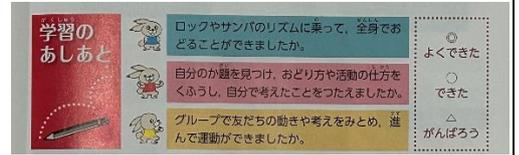
④気づいたことやで
きるようになったこ
とを伝え合う。

2. 【反対遊び】

- ・相手の動きを見て、逆の手を動かす。
 - ・手をたたくのと広げる、右手と左手、上下に動くな
ど反対の動きを経験することをねらいとする。
- ※間違えてもどんどん続けて、意欲的に取り組めるよ
うにする。



5. 「学習のあしあと」の使い方を説明する。
※友だちとの関わりの中でできるようになった
ことを振り返りで気付かせるようにする。



1. 【前時のやってみようをおどる】

- ・先生の動きをまねしておどってみる。
- ・相手の動きを見て、逆の手を動かす。



2. ロックやサンバに挑戦しよう。

本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

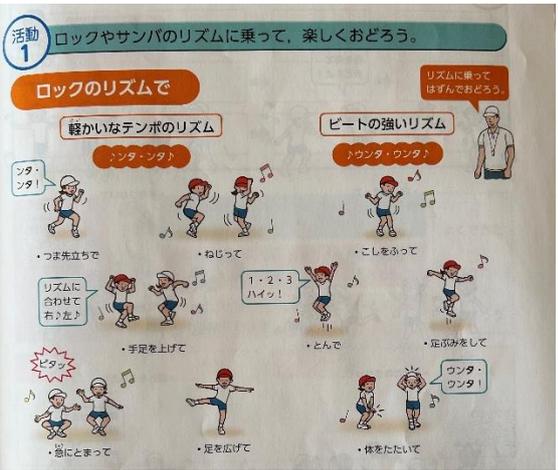
3-1. 【ロックのリズムでおどる】

- ・軽快なテンポのロックダンスやビートの強いロック
のリズムに合わせてダンスが踊れるように、リズム
の特徴を見付けられるようにする。
- ※リズムを取りやすいようにタンブリンを使う。



3-2. 【サンバのリズムでおどる】

- ・一人で練習をしたり、二人1組で練習をしたりでき
るように見せ合いや確認ができる環境を設定する。
 - ・リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、変化を付け
たりして踊ることをねらいとしている。
- ※いい動きをしている人を見付けておくようにする。



⑤共有したポイントを意識してもう一度活動1を行う。

⑥本時のまとめをする。

第6時

①準備運動「やってみよう」を行う。

②めあてを確認する。

③活動2を行う。

④うまくいったことや課題について友だちと伝え合う。

⑤もう一度活動②をする。

・ペアの友だちやグループの友だちに見付けてもらった動きの良さを意識したり、見つけた友だちの動きを取り入れたりすることができるようにする。

【場の工夫】

○友だちと見せ合いができるように鏡を使ったり、動画で撮影したりして見返すことができるようにする。

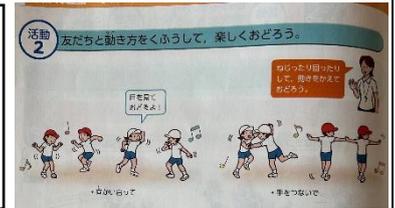
【ダンスの工夫】

○今まで使った動きを言葉でまとめておく。
○共有したポイントについては、タブレット端末に文字や絵、動画で残すことができるようにする。

5. 友だちのよい動きを全体で共有する。
学習活動のまとめをし、次時の意欲喚起につなげる。

1. 【ロックやサンバに合わせて踊る】

- ・先頭の友だちに合わせてダンスをしてみる。
- ・弾むことを意識して踊るようにする。



2. **友だちと動き方を工夫して、楽しく踊ろう。**

本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

3. Let's ダンス

- ・活動1で出てきたダンスの動き方のポイントについて確認する。
- ・友だちと関わり合ったり、弾んで踊ったりする。
- ※友だちとの関わりが苦手な児童には、友だちと同じ動きをすること、友だちと反対の動きをすること、友だちの動きに対応する動きを紹介するなどの配慮をする。
- ・お互いに見せ合うことで、よい動きを見付けることができるようにする。



4. 動きのよさを伝える。
- ・見つけたよい動きを取り入れて踊ることができるようにする。

	<p>【場や空間の工夫】</p> <p>○人の動きが停滞しているときには、「人のいない場所を探してみよう。床から天井を意識してみよう。体育館いっぱい広がってみよう。」と声をかけ、移動の方向や場の使い方を考えるようにする。</p>	<p>【言葉がけの工夫】</p> <p>○体の動きが小さいとき、動きの勢いがたりないときには、その子どもたちの動きを録画しておき、「向きや角度を変えること、動きの速さを変えてやってみるといいよ。」と声をかけるようにする。後で自分たちの目でも確認できるようにする。</p> <p>○意欲的に取り組めるように肯定的な言葉や声かけをする。</p>
<p>⑥本時のまとめをする。</p>	<p>5. 振り返りをする。</p> <p>・「学習のあしあと」を参考に学習を振り返り、個人・チームの伸びや頑張りを賞賛し、単元のまとめをする。</p>	
<p>【評価の観点】</p>		
<p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「リズムダンス」の行い方を理解している。 ・軽快なロックやサンバなどのリズムの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友だちと関わり合ったりして即興的に踊ることができる。 	
<p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。 ・練習中に自分が考えたことを友だちに伝えることができる。 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「リズムダンス」に進んで取り組んでいる。 ・誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ・友だちの動きや考えを認めている。 ・安全に運動するために、場の安全に気を付けようとしている。 	
<p>【学習を通しての児童の反応、児童の感想】</p>		
<p>児童の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動きを組み合わせやすいように、教科書の 31 ページにあるカードをもとにして練習する児童が多く見られた。 ・運動が得意な児童の中には、困っている友だちへ声をかけたり、一緒に動き方を考えたりする子がいた。練習を繰り返し行う姿が見られた。 ・どの動きをだれがやっていくのかを話し合いながらダンスを行っていた。 	
<p>児童の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでもダンスができるようになった。 ・〇〇さんは、自分の動き方をよく見ていてくれたよ。アドバイスが分かりやすかった。 ・〇〇さんは、いつも一緒にやってみようと言ってくれたよ。 ・先頭でやることのむずかしさに気が付かなかったよ。友だちがやってみて分かることもあったよ。 ・みんなでダンスをすると、ふんいきも変わることが分かったよ。 	
<p>【「わたしたちの体育」を活用した学習について】</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教師用指導書 62～65 P の「展開例」を参考に本単元の学習展開を考えるとともに、62 P のきまりを単元初めに指導することによって、安全・安心な学習を展開することができる。また、65 P の「苦手な児童への配慮の例」を基に、ダンスやリズムを取ることによって、児童もダンスのポイントを押さえながら楽しく踊ることができた。 		

